

木阪賞文堂、ご当地文具で新市場開拓 特産品で新商品、需要掘り起こしに活路



ご当地文具の金魚ちょうちんグッズ

文具・オフィス用品販売の(有)木阪賞文堂(柳井市中央3-1-278-12、木阪泰之社長)が経営革新計画企業に承認された。

経営革新に取り組むテーマは「ご当地文具で新市場開拓と地域活性化」。5年前から始めた柳井の民芸品「金魚ちょうちん」をモチーフにした文具の商品開発をさらに進める。制作から開発までの実績、ノウハウを生かしてコンサルタント事業も手がける計画。

文具業界では低価格化が進み、オフィス関連商品の需要は減少。一方で個人の購買意欲は拡大している。

「つくれる文具屋さん」を目指している同社では、視点を変えた提案が、潜在的な需要の掘り起こしにつながるとし、「ありそうでなかったモノ(ご当地文具)をカタチにする『メーカー化に挑戦』」している。

同社によると、ご当地文具の開発を事業化している例はないとする。

経営革新計画では、ほかの地

域の文具店に対して、各地域の特産品を活用した商品の開発を提案するコンサルティングも盛り込んでいる。

木阪社長は「ご当地文具は好んで買ってもらえるという実感がある。一般的な文具アイテムであっても、知恵と技術と感性を加えて、みんなの夢や想いをデザインし、パッケージ、商品にすれば、魅力的な新鮮味のある全く新しい文具になる。商品の開発で市の観光振興にも貢献できれば」と話している。

村重酒造、新酒の酒粕贈る 健康願い、14の老人福祉施設



酒粕の贈呈式であいさつする村重社長

村重酒造(岩国市御庄5-101-1、村重英基社長)は2月20日、市内の老人福祉施設14カ所に、新酒の酒粕計60キを贈った。

特別養護老人ホーム「灘海園」(同市愛宕町)で贈呈式があり、村重社長が各施設の代表者に酒粕を手渡した。

村重社長は「おいしい酒粕ができた。甘酒や粕汁にしてもお

いしく、健康になってもらうため、各施設に持ち帰って召し上がってください」と語った。各施設は1キから10キの酒粕を受け取った。

同社では5年前から「寒い時期に酒粕で温まってもらい、いつまでも健康で長生きをしてもらいたい」と毎年、酒粕を贈っている。

いわくにバス、定期乗車券を宅配新サービス、自宅で購入可能
バス会社として利用しやすいバスの運行を目指す、いわくにバス(株)(岩国市日の出町3-10、上田純史社長)は4月1日から定期乗車券の予約宅配サービスを始める。同サービスにより、自宅でも定期券の購入が可能になる。

本社と岩国駅前のキップ売り場、錦帯橋のバスセンターでしか購入できなかった利用者の不便さを解消する。

申し込みは使用開始日の10日前からで、本社の電話やインターネット、ファックスで受け付ける。

宅配業者が定期券の運賃と送料、代金引換手数料を支払う方法。不在の場合は、宅配業者が「不在連絡票」をポストに投函し、後で受け取る。

通学定期券を購入する場合は、通学証明書を事前に郵送することが条件になる。敬老優待乗車証「シルバーパス」(全線通用定期券)の発売も宅配サービスの対象になる。

同社によると、定期券はシルバーパスなども含めて月間約1000枚を発売している。

旬刊

昭和47年4月12日 第3種郵便物認可
平成26年2月28日発行(毎月8・18・28日発行)
(第42巻6号) 通巻 第1536号

2/28

山口経済レポート

おかげさまで42年
1972年(昭和47年)創刊



THE NEW VOLVO V60

ボルボ・カーズ山口

株式会社オーグス TEL083-901-1221



東亜自動車工業(株)が2016年操業を目指し新工場を建設する。
島津義孝社長

主要記事

- ・ マツダ、RJCカーオブザイヤー受賞
- ・ いわくにバス、やまぐちユニバーサルデザイン優秀賞
- ・ 日本果実工業、66億円を投じ山口工場増強
- ・ カン喜、食品安全マネジメントシステム認証取得
- ・ 東亜自動車工業、新工場建設し、鉄道車両部品を本格生産
- ・ 半月庵、県産木材で館内を和空間に改装
- ・ 新会社設立
- ・ 会社の決算概要
- ・ 周南ベンチャーマーケット、3月14日開催へ
- ・ 県内経営トップに聞く(株)岩崎宏健堂富永幸朗社長
世ばなし庵

超えてゆく、ブランド。

時代のその先へ、
CROWNの挑戦はとまらない。

CROWN
"HYBRID"
SERIES



トヨタ 本社/山口市小郡
(083) 973-3111

購読のお申し込みは…TEL (0835) 24-1355(代)、FAX (0835) 25-0135

E-mail : info@ykr.co.jp URL <http://www.ykr.co.jp/>